

文化遺産総合活用推進事業 実施計画

1 都道府県・市区町村名	兵庫県篠山市	2 補助事業の種類	地域文化遺産活性化
3 実施計画の名称	歴史文化を活かした地域活性化事業		
4 実施計画期間	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
5 実施計画の概要			
<p>篠山市は篠山盆地を中心としたコンパクトな領域の中に、歴史的な町並みや農村集落、それらを取り巻く田園風景が広がっており、また祭礼行事や民俗芸能などの伝統文化が今なお息づいており、日本の原風景ともいべき空間を作り出している。平成22年度に策定した篠山市歴史文化基本構想の考え方を踏まえ、篠山市固有の歴史文化の主要な構成要素である文化遺産を、地域のまちづくりに積極的に活用するために、地域主体の取り組みが実施される体制を目指す。</p> <p>※篠山市歴史文化基本構想はURL(https://www.city.sasayama.hyogo.jp/pc/group/shakaikyoku/city-planning/post-24.html)にて公開。</p>			
<p>本事業については、篠山市が全体計画の企画、調整、事業の指導等を行う。 主な担当課、役割 教育委員会文化課：文化財の取り扱い等に関する指導、体験事業に関する調整等 商工観光課：観光業務に関する連携 また、事業の実施については、次の団体が実施。 篠山市歴史文化活用実行委員会（会長 今井 進） （構成団体：畑市自治会、井ノ上自治会、福住中区自治会、一般社団法人ウイズささやま、篠山市、篠山市教育委員会</p>			
7 実施計画における目標と期待される効果		別紙①のとおり	
8 補助事業の概要	(1) 補助金額	～平成28年度交付決定額： 千円	平成29年度申請額： 8,237 千円
	(2) 実施事業の概要	別紙②のとおり	
9 その他計画実施により想定される効果（定性的な効果を記載）			
<p>本計画に基づく事業を実施することにより、市民の伝統文化を初めとする文化遺産に対する意識が向上し、地域の文化遺産を次世代へ継承していく担い手を育成することができる。このことにより、祭礼の参加者および保存団体の会員数の増加を目指す。また、様々な方法で情報発信を行うことで、市内外の人たちへの篠山市の文化遺産に対する関心を高めることができる。</p>			
10 その他事業（自主財源、民間団体、他省庁等からの補助（支援）を予定している事業など）			
事業概要：	篠山市の自主財源で地域の歴史文化を活かしたまちづくり事業助成金を募集し、篠山市の貴重な歴史文化を継承していくために、地域の身近にある「歴史文化まちづくり資産」を保存・活用する様々な取り組みを支援する。		
事業概要：			
事業概要：			
11 「歴史文化基本構想」の策定や「歴史的風致維持向上計画」の作成・認定に向けた計画の見込等			
平成22年度に篠山市歴史文化基本構想を策定			
12 担当部局			
地方公共団体 担当部局課	篠山市教育委員会 文化財課		

7 実施計画における目標と期待される効果 別紙

目標区分 1 :	地域の文化資源を活用した集客・交流					
評価指標区分 1 :	地域の文化遺産関係資料館、博物館等の年間入館者数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 1 :	篠山市 4 文化施設 (大書院、青山歴史村、歴史美術館、安間家史料館) の入館者			関連事業:	①、②、③、④	
目標値 1 :	平成 29 年度 95,000 人 ⇒ 平成 33 年度 110,000 人					
設定根拠 1 :	平成28年度までの伸び率 3%を参考にして、毎年伸び率を3%と設定					
進捗状況 1 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	人
目標区分 2 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 2 :	祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 2 :	波々伯部神社のおやま行事の参加住民数			関連事業:	⑤、⑥	
目標値 2 :	平成 28 年度 80 人 ⇒ 平成 33 年度 100 人					
設定根拠 2 :	地区の人口社会減の状況から現状維持以上の数値を設定					
進捗状況 2 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	人
目標区分 3 :	伝統文化の継承体制の維持・確立					
評価指標区分 3 :	祭礼行事への参加住民数 (具体的な指標は次のとおり)					
具体的な指標 3 :	水無月祭の参加住民数			関連事業:	⑦	
目標値 3 :	平成 28 年度 30 人 ⇒ 平成 33 年度 35 人					
設定根拠 3 :	地区の人口社会減の状況から現状維持以上の数値を設定					
進捗状況 3 :	各年度、状況値、目標に対する達成率					
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度	
人	人	人	人	人	人	人

様式 1-1 別紙②

8 (2) 実施事業の概要 別紙

事業①：	篠山歴史文化こどもガイド養成	実施団体：	一般社団法人ウイズささやま		
事業区分：	人材育成	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：	史跡篠山城跡地内にある大書院において、篠山の未来を担う地域の小学生を対象に、地域の歴史文化にふれ、みずからが楽しく情報発信者になってもらえる講座を開催し、こどもボランティアガイドを養成して地域の歴史文化遺産を継承する。				
評価指標区分：	・その他	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	ボランティアガイド登録者数				
目標値：	平成 29 年度	29 人	⇒ 平成 33 年度 35 人		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
人	人	人	人	人	人
事業②：	青山家文書普及啓発事業	実施団体：	一般社団法人ウイズささやま		
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：	旧篠山藩主青山家に代々伝わってきた近世国文学関係史料を活用して、専門の講師による「古典講座」を5回にわたって開催し、古典に親しむ人材を育成する。				
評価指標区分：	・その他	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	古文書サポーター登録者数				
目標値：	平成 29 年度	0 名	⇒ 平成 33 年度 10 名		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
名	名	名	名	名	名
事業③：	王地山焼後継者育成	実施団体：	一般社団法人ウイズささやま		
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度		
事業概要：	兵庫県伝統的工芸品である王地山焼きを制作する教室を実施する。王地山焼の伝統的な製法である押し型成形を、陶工の指導により土型に模様を彫り、彫った模様が浮き彫りとして現れる型皿を制作する。				
評価指標区分：	・その他	(具体的な指標は次のとおり)			
具体的な指標：	王地山焼サポーター登録者数				
目標値：	平成 29 年度	0 人	⇒ 平成 33 年度 5 人		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
人	人	人	人	人	人

事業④：丹波木綿普及後継者育成		実施団体：一般社団法人ウイズささやま	
事業区分：	普及啓発	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 33 年度
事業概要：	古くから丹波地方に受け継がれてきた伝統工芸「丹波木綿」の技術を市民に体験してもらうワークショップを実施する。丹波木綿保存会の方を講師に迎え、「丹波木綿の歴史を学ぶ」座学を始めとして、作業の工程を体験し、一枚の完成品を作る。		
評価指標区分：	・その他	(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	丹波木綿保存会会員数		
目標値：	平成 29 年度	12 人	⇒ 平成 33 年度 16 人
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率		
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
人	人	人	人
事業⑤：波々伯部神社のおやま行事山車懸装品一式修理		実施団体：畑市自治会	
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 30 年度
事業概要：	嘉永 5 年（1853年）製の懸装品一式が、経年劣化による損傷が激しいため継続使用が難しく、また江戸時代の舶来品の刺繍技法並びに地域の伝統文化を伝える文化財資料保護の観点から、新調当時に使用していた材料及び手法を用いて保存修復を行う。		
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数	(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	平成29年度祭礼参加者から10人増		
目標値：	平成 29 年度	40 人	⇒ 平成 33 年度 50 人
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率		
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
90 人	人	人	人
事業⑥：々伯部神社のおやま行事山車見送幕修理		実施団体：(実施団体名を記載してください。)	
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ～ 平成 30 年度
事業概要：	波々伯部神社波々伯部神社のおやま行事で井ノ上山車にて使用する見送幕は制作以来120年余を経過し、近年刺繍が判別できないほど損傷が激しく、現況では継続して祭礼に用いることができないため、既存の幕を活かした形で損傷部分の修復を行う		
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数	(具体的な指標は次のとおり)	
具体的な指標：	平成29年度祭礼参加者から10人増		
目標値：	平成 29 年度	40 人	⇒ 平成 33 年度 50 人
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率		
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
人	人	人	人

事業⑦：	水無月祭の祭礼山車見送幕の修理	実施団体：	福住中区自治会		
事業区分：	用具等整備	事業期間：	平成 29 年度 ~ 平成 30 年度		
事業概要：	篠山市福住中区に伝わる山車（獅子王山）刺繍見送幕は新調より130年余りを経て経年劣化等による損傷が近年激しく、現況では継続して祭礼に用いることができないため、既存の幕を活かした形で損傷部分の修復を行う。				
評価指標区分：	・祭礼行事への参加住民数	（具体的な指標は次のとおり）			
具体的な指標：	平成29年度祭礼参加者から5人増				
目標値：	平成 29 年度	30 人	⇒ 平成 33 年度 35 人		
進捗状況：	各年度、状況値、目標に対する達成率				
平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度	平成 34 年度
人	人	人	人	人	人